

■湯川秀樹 理論物理学者。<敗戦>直後に、日本人初のノーベル賞を受け、世界平和や世界連邦運動を推進した。

ゆかわひでき

韓国反日暴動1907＝ 地理学者小川琢治の三男として東京麻布で生まれた。
アヲヲ 創刊・1908＝ 1歳：父が京都大学教授となってから京都で育った。

明治天皇没・1912＝ 5歳：

民本主義・・・1916＝ 9歳：

原敬首相暗殺1921＝14歳：
水平社結成・1922＝15歳：_アインシュタインが来日、刺激を受ける。
関東大震災・1923＝16歳：_第三高等学校に入学し、朝永振一郎に出会い、終生の友となった。

治安維持法・1925＝18歳：
円本時代始・1926＝19歳：_朝永とともに、京都帝国大学理学部に入学。

共産党事件・1928＝21歳：_朝永とともに、玉城嘉十郎から量子力学などの指導を受け、
世界恐慌・・・1929＝22歳：_ハイゼンベルクとディラックが来日するなどして、量子力学と相対性理論の融合という欧米の学者すら考
えなかった大きなテーマをめざすようになって、京大を卒業、玉城教授の副手となる。

満州事変・・・1931＝24歳：_京大での仁科芳雄の集中講義を受講、朝永とともに認められるも、秀才で人づきあいの良かった朝永の方
が理化学研究所に引抜かれ、

五一五事件・1932＝25歳：_講師となるも、論文を書けずに講義も下手だったことから、悶々とするうち、湯川スミ(父玄洋は大阪の胃
腸病院長)と結婚して湯川姓となる。大阪に移住して経済的にも安定、留学の勧誘を受けるも断った後、

国際連盟脱退1933＝26歳：_前年新設の大阪帝国大学講師を兼ねると、八木秀次による自由な研究環境のなか、中間子の予言に到達、
帝人疑獄事件1934＝27歳：_阪大専任講師となる。西宮に転居。*中間子論を日本数学物理学会で発表、
芥川直木賞始1935＝28歳：_英文論文「素粒子の相互作用について」として公表。見つかるとしたら宇宙線中だろうと予言するも、内外

の関心は薄かったが、門外漢だった八木の励ましを受け、
二二六事件・1936＝29歳：_その推挙で助教授に昇進後、

日中戦争始・1937＝30歳：_アメリカのアンダーソンが宇宙線中に湯川が与えた質量をもつ新粒子を発見。これを機に湯川理論は世界
の注目を集め、国内外で多くの研究が進められるに至った。ニールス・ボーアが来日。

第二次大戦始1939＝32歳：_京都大学教授になった。この年ソルベ会議に招かれて渡欧したが、戦争勃発のため会議が中止となり、
アメリカの大学をまわって帰国した。この頃から、かねて気にかかっていた発散の困難を含む素粒子論の概
念的枠組の根本的改革をめざして本格的にとり組み始め、これがその後の生涯の研究テーマとなった。

大政翼賛会・1940＝33歳：_学士院恩賜賞。

日米開戦・・・1941＝34歳：

・・・1942＝34歳：東京帝国大学教授を兼任。

創価学会検挙1943＝36歳：_「存在の理法」。京都へ移住。_文化勲章。

新憲法公布・1946＝39歳：_第二次世界大戦中は海軍の原爆研究に名を連ねたが、積極的に参加した形跡はない。
_戦後ただちに、困難の中で欧文の学術誌{Progress of Theoretical Physics}を創刊し、日本の研究成
果を国内外に広めることに尽力。

新憲法施行・1947＝40歳：_イギリスで2種類の間接子が確認され、その一つが湯川の予言していた核力の中間子であることが判明。

極東裁判始・1948＝41歳：_プリンストン高等研究所客員教授として、渡米。

三大事件・・・1949＝42歳：ひきつづきコロンビア大学教授として在米。*日本人初のノーベル物理学賞。

朝鮮戦争始・1950＝43歳：_非局所場理論を発表。

独立回復・・・1951＝44歳：

メーデー事件・1952＝45歳：_これを記念して京大に湯川記念館が完成。

TV放送始・・・1953＝46歳：_帰国、同記念館を改称した京都大学基礎物理学研究所の所長となった。

自衛隊発足・1954＝47歳：_水爆実験に激しい衝撃を受け、

55年体制始・1955＝48歳：_ラッセル＝アインシュタイン宣言に署名し、世界平和アピール七人委員会を結成。

なべ底不況・1957＝50歳：_そこで呼びかけた世界の科学者の第一回パグウォッシュ会議に朝永とともに、参加。

安保闘争・・・1960＝53歳：

タイタイ病始・1961＝54歳：_世界連邦世界協会会長になるなど世界政府・世界連邦運動の熱心な推進者でもあった。

全国総合計画1962＝55歳：_朝永とともに、第一回科学者京都会議を主催。
_以降、没するまでに4回の科学者京都会議を主催し、核兵器の全廃と戦争廃絶を訴えつづけた。

大学紛争始・1965＝58歳：_世界連邦世界協会会長を退き、名誉会長となる。

いざなぎ景気1966＝59歳：「素領域論」を提唱。

大阪万博・・・1970＝63歳：_京都大学を定年退官。

石油ショック1973＝66歳：_創造性研究に興味をもち、同定の理論を唱えて、「天才論」を書き始める。

クアランプール事件1975＝68歳：_朝永の尽力で、京都パグウォッシュ会議を開催、湯川・朝永宣言「核抑止を超えて」を発表。

革新大敗北・1979＝72歳：*「天才論」3巻を著した。

・・・1981＝74歳：_晩年の数年間は病魔と闘い続け、急性心不全のため京都下鴨で没した。

丸善コミック「湯川秀樹と朝永振一郎」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、「日本の群像」、平凡社百科事典、山田風太郎「人
間臨終図巻」、「目でみる日本人物百科」、「100人の20世紀」、